



修学旅行を経て～55期生の新たな一步～

校長 富川 麗子

季節が駆け足で進んでいる、そんな感じがする11月です。

さて、2年生(55期生)は、11月14日(火)から17日(金)にかけて、修学旅行で北陸・金沢と大阪を訪れました。この体験を通じて、生徒達は自らの眼で文化と歴史を学び、また新たな視野を広げる機会を得ました。

兼六園の優美な景色、金沢城の威厳ある構造、ひがし茶屋街の風情ある街並み等、今回の修学旅行で最初に訪れた金沢では、生徒たちは日本の伝統と歴史の深さを感じることができました。そして、のとじま水族館の海の生き物たちに触れ、海の生命の不思議と美しさに心を奪われました。

大阪では、ユニバーサルスタジオのアトラクション等を楽しみ、デザインポケットでは食品サンプル(たこ焼き)を作成する体験を通して、創造性溢れる世界に触れることが出来ました。

行く先々で出会った、私たちの修学旅行をサポートしてくれた方々の心温まる笑顔に触れ、新たな視点を得ることができたことでしょう。

さて、立命館アジア太平洋大学(APU)の出口治昭学長は、「人」、「本」、「旅」が新しい情報や知識を取り込む上で重要であると述べています。この修学旅行は、まさにこれら三つの要素が融合した学びの場でした。クラスメートや現地の人々との交流。事前に読んだ資料や書籍による深い理解。そして新しい場所での体験。内なる世界を広げ、新たな自己発見等、これらが生徒たちの成長にこの後も深く関わっていくことを期待しています。

この修学旅行(集団生活)の中で、生徒の皆さんは、自己管理の重要性、友達と協力することの大切さを学び、大切な社会性を培いました。皆さんにとって、ただの楽しい思い出に留まらず、今後の学校生活、集団生活を送る上での糧となることを願っています。



Sport-Science Promotion Club～ビームライフル部とバドミントン部の活躍～

本校は、東京都教育委員会から「Sport-Science Promotion Club」の指定を受けています。ビームライフル部とバドミントン部は、本事業の趣旨である「科学的トレーニングの積極的な導入等により、短時間で効果が得られるような合理的でかつ効率的・効果的な活動」で、様々な成果をあげています。

ビームライフル部 2年生の志賀 修磨さんは、11月18日(土)、19日(日)に行われた、「令和5年度 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会」(会場：栃木県立真岡北稜高等学校)に出場しました。落ち着いた競技を行い、アベレージ「8」以上と高得点でした。おめでとうございます。

また、この事業に参加している都立高校の中から、6校・パリに派遣され、最先端の科学的トレーニングの体験や、同世代の高校生等との交流を通じて、海外のスポーツ環境や新たな価値観に触れてきます。その中の1校が、本校で、バドミントン部の4名が、パリに派遣されます。

11月12日(日)新宿カンファレンスセンターにおいて、運動部活動海外派遣研修(パリ)の第1回事前研修が行われました。東京都の代表として、本校生徒の活躍に期待しています。

24名が来年の1月に、フランス

